

第19回サイコロロジー研究会

主催：日本レオロジー学会 サイコロロジー研究会

日時：2018年3月2日（金） 13:30-17:00

場所：株式会社アントンパール・ジャパン本社 アネックスセミナールーム

住所：東京都品川区北品川 1-20-9 FORECAST 品川 3階

アクセス：JR品川駅港南口下車 徒歩13分（次ページに会場へのアクセス図あり）

定員：50名（基本は先着順ですが、場合によっては懇親会に参加する方を優先させていただきます）

プログラム：

13:30-14:30

1. 「指の動きに着目した触感覚計測の試み」 -化粧品との関係- （花王）小島 晴予 様

化粧品の触感を触感覚の観点から整理すると、指と肌との間に介在する製剤が指の動きによって引き起こされる構造変化・乾燥・肌への浸透といった複雑な現象を統合しながら時間軸の中で知覚・認知される触感覚と考えられる。

我々は、化粧品の触感について塗布始めから終わりまでの時間変化を皮膚上で計測するため、指の微細な動きに着目した。今回、慣性センサを応用した指の動きの計測手法の紹介及び、得られたデータと触感の関連についてこれまで得られた知見を報告する。

14:35-15:35

2. 柔軟仕上げ剤の感性評価について （ライオン）藤井 日和 様

近年、生活者が衣料用洗剤や柔軟仕上げ剤に求める価値が変化している。洗浄力や柔軟性といった商品の基本的な価値である「機能的価値」に加えて、その商品を使うことでリラックスする、ワクワクするといった快適さを与える「情緒的価値」が重要になっている。当社では、衣生活における情緒的価値を提案するため、柔軟仕上げ剤による布製品の香りや触感が生活者の快適性に与える影響を評価してきた。本講演では、そのいくつかの事例を紹介する。

~~~~20分休憩~~~~

15:55-16:55

#### 3. スキンケア化粧品の製剤特性による心理変化

-製剤の触感や外観の差が感情や行動に関連する心理状態にも差を生む- （ポーラ化成）倉沢 真澄 様

化粧品には、皮膚状態を改善し肌を健やかに保つといった皮膚生理的作用だけでなく、「心地よい」など感性的な価値も期待される。しかし、製剤自身が、ユーザー側の心理状態に変化を及ぼすか否かは、メイクアップや香りの作用を除きほとんど明らかになっていなかった。そこでクリームを例にとりユーザーの心理状態に変化がおこるかを検証したところ、スキンケア製剤がこれまで考えられていた以上の感性的価値を有する結果が得られたので報告する。

### 懇親会（予定）：

17:20-19:20

場所：PRONTO 品川インターシティー店

住所：東京都港区港南2-15-2 B棟 B1F TEL：03-5461-3655

※ なお、懇親会は参加希望者が少ない場合、中止することもございます。

## 参加費：

研究会参加費：3,000 円（学生 1,000 円）

懇親会参加費：3,000 円（学生 2,000 円）

問い合わせ・申し込み先：資生堂グローバルイノベーションセンター アドバンスリサーチセンター 那須 昭夫  
〒224-8558 横浜市都筑区早渕 2-2-1

TEL: 070-3859-1905, E-mail: [akio.nasu@to.shiseido.co.jp](mailto:akio.nasu@to.shiseido.co.jp)



品川オフィスアネックス  
ショールーム・セミナールーム  
〒140-0001  
東京都品川区北品川1-20-9 FORECAST 品川3階

